

# 「1人1人が主人公」となれる地域づくりに向けて

見沼の文化とSDG'sを意識した  
共同創造のソーシャルファームづくり



公益社団法人やどかりの里

2022.4.30

## 本日お話すること

1. 私たちの団体について
2. 私たちが現在取り組んでいるプロジェクトについて
3. これからに向けて



# 1. 公益社団法人やどかりの里 団体概要

## \* やどかりの里のミッション

障害があっても“自分らしく生きる” ことのできる  
地域の実現

## \* 活動概要

1970年から精神障害のある人への地域支援活動を展開し、  
障害のある人の暮らしの場、働く場、相談の場、憩いの場を  
さいたま市内に点在させてきた。一方、出版や研修・研究事  
業を進め、差別・偏見の除去を目指した情報発信を行う。

## \* 組織概要

現在320人余りの障害のある人がやどかりの里が運営する  
事業所を利用し、約100人（常勤・非常勤）の職員が働く。  
ピアサポーターも活躍。対話と共感と学習を重視し、関わる  
1人1人が主体的に活動に参画することを目指している。



SDGsの5つのPと  
やどかりの里の5つの課題

# 1. プロジェクトの背景

## 社会課題と問題関心



### 1) 社会的分断と孤立

孤立しない地域, つらなる和をつくる.  
さまざまな人が支え合うお互い様の地域づくり.  
競争から共創する社会へ.

### 2) 制度のはざまの課題解決

場（機会と関わり）と空間（オープンスペース）と居場所（心理的安心感）づくり,  
アウトリーチの必要性. 多様な交わりが新しい価値を生み出す.

### 3) 食とケアとエネルギーの自給圏（ソーシャルファーム）

見沼の自然を守り, エシカルなモノ・コトづくりから, 持続可能な暮らしと地域づくり.

## 2. プロジェクトの目的

### 目指すべき到達点

#### 1) 共生関係の創出

既存制度で解決できない課題を明確にする

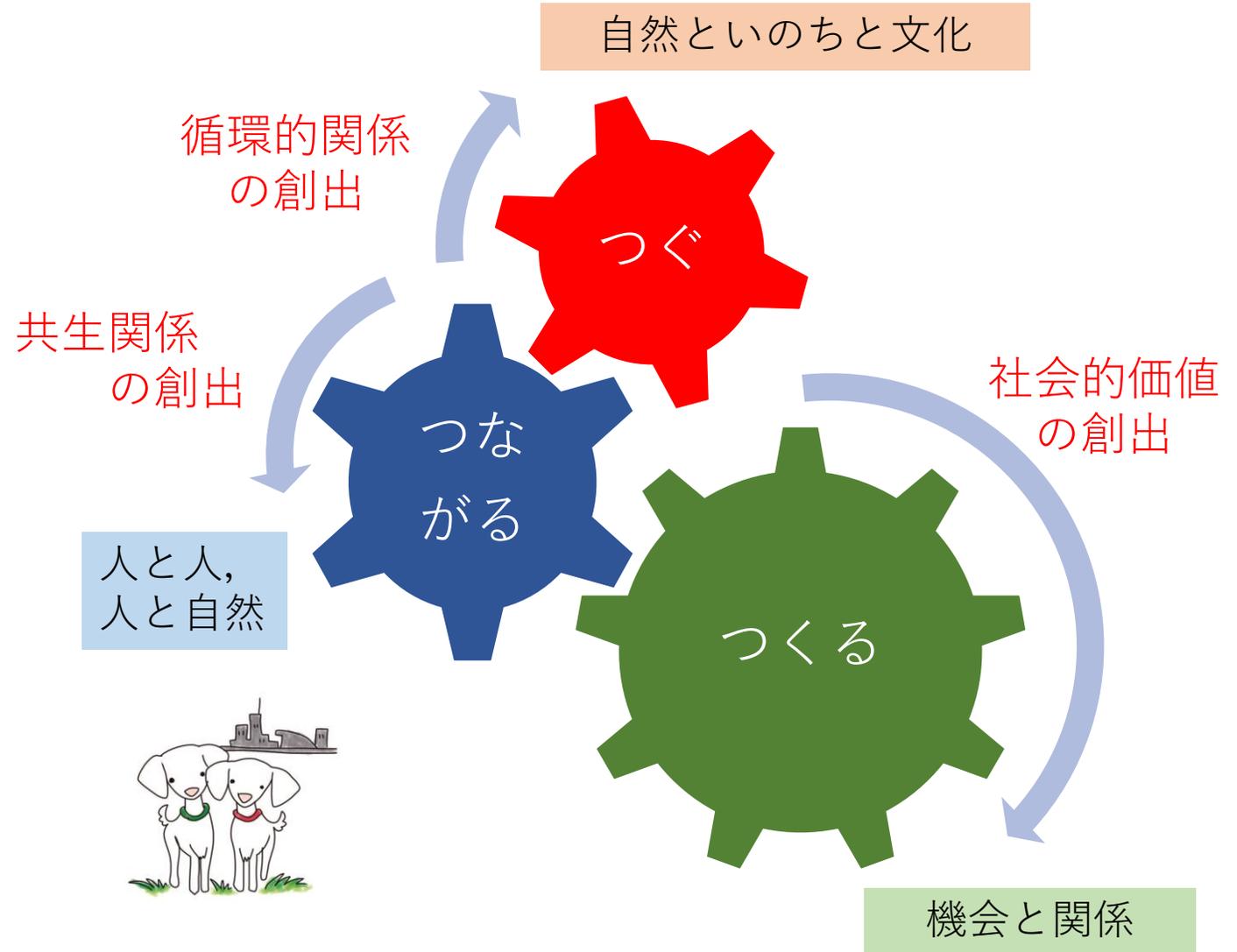
#### 2) 循環的関係の創出

食とケアとエネルギーが地域で循環する地域づくり，仕事づくり

#### 3) 社会的価値の創出

多様な社会参加，働き方を実現するソーシャルファームの必要性・有用性に共感する人を広げる。

## プロジェクトのコンセプト



## 2-1 これまでの取り組み

### 移動アートで地域巡回



### 音楽でつながる場



## 2-2. これまでの取り組み

### キッチンカーで地域巡回



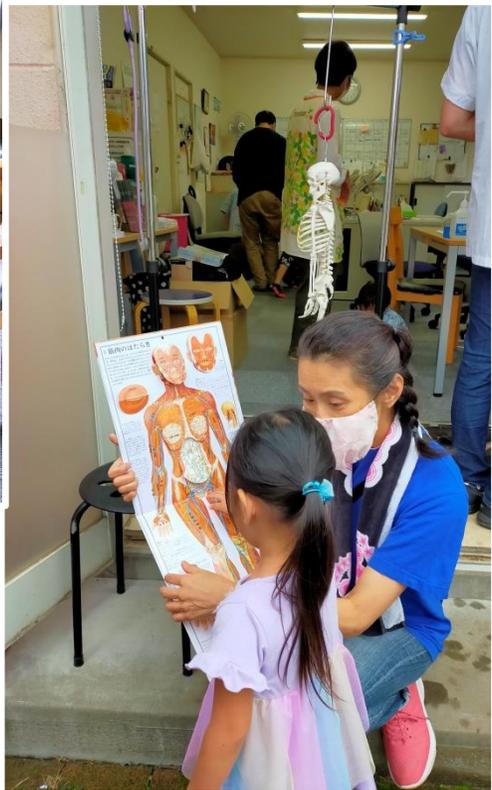
2-3.

## ヤギと地域巡回



2-4.

まちなか保健室（保健師・薬剤師・精神保健福祉士など）



2-5.

## 移動式リヤカー



## 太陽光発電



## 3-1. これまでの取り組みをこれからの取り組みへ

### 1) つなぐ（循環的関係の創出）

- ・ 助けてと言える地域づくり（地域巡回，顔の見える活動）
- ・ アウトリーチ活動の活性化（まちなか保健室，地域調査）
- ・ 支援者拡大と資金調達（イベント，コミュニティ誌，HP，ファンドレイジング）

### 2) つぐ（共生関係の創出）

- ・ エシカルなモノ、コトづくり（自然エネルギーと自然建材の積極的活用）
- ・ 見沼の自然を守る（桜の見守り活動，自然栽培，地消地産の実践）
- ・ FEC自給圏構想（地域で暮らす「安全・安心」を考える，貧困と社会的孤立の改善）

### 3) つくる（社会的価値の創出）

- ・ 共同創造の基盤づくり（ワークショップ，体験型学習会の開催）
- ・ ソーシャルファームの拠点づくり（多様な社会参加，働き方の具体化の推進）
- ・ 行政とのコラボレーション（地域のニーズにこたえ，見沼らしさを生かす事業化）

# 3-2. これからに向けて

## 地域の拠点づくり

